

京都市ではさまざまなエコ活動に対する支援を行っています。
エコ学区で実施する活動にご利用いただけるものも多数ございますのでご活用ください。

DO YOU KYOTO? クレジット コミュニティ・プロジェクト ～あなたの省エネ買い取ります!～

町内会などの市民グループや商店街等のコミュニティにおいて省エネ活動を実施される際、市がその省エネや節電成果に応じた額の奨励金を交付します。概ね10世帯以上の市内在住のグループであれば、町内会だけでなく、草野球チームや仲良しグループなどでもご参加可能です。省エネによって光熱費が削減でき、さらに奨励金も交付される「DO YOU KYOTO?クレジット制度」に参加してみませんか?

対象	取組期間
概ね10世帯(店舗)以上の市内在住のグループ	最大2年間

省エネ成果の確認方法

- 電気・ガスの検針票に記載された「当月使用量」と「前年同月使用量」の差で算出。
 - 合計で消費量が増えてしまった場合は、奨励金をお支払できません。

取組効果の例

- 平均的なご家庭（2人住まい）で約10%の省エネを行うと、1年間で、約1万円の光熱費（電気代換算）が節減され、約2,000～3,000円の奨励金を得ることができます。
 - 例えばシャワーヘッドを節水タイプに変更すると1年間で約24,000円の光熱費（ガス・水道）が節減されます。（平均的な使用状況の場合）
 - この取組に参加されたある学区では、55世帯で1年間に約136万円分の光熱費（電気代換算）を節減し、27万円の奨励金を受け取られ、グリーンカーテン講習会開催などの地域のまちづくり活動に活用するなど、地域コミュニティの活性化につながる取組に役立てられています。

地域ごみ減量推進会議

地域ごみ減量推進会議は、小学校区(元学区を含む)を基本単位とし、自主的に組織された団体です。現在、166団体が設立され、使用済てんぷら油や古紙等の資源物回収、フリーマーケット、環境学習会など、その地域の特性に合わせたごみの減量やリサイクルに取り組まれています。一緒に、ごみ減量の活動に取り組みませんか?



平成 26 年 3 月発行 京都市印刷物第 254920 号

発行 京都市環境政策局地球温暖化対策室 [電話] 075-222-4555 [FAX] 075-211-9286

制作 エコ学区サポートセンター(財団法人京都市環境事業協会)【電話】075-641-3686 平日10~18時(土・日・祝日除く)

**エコ学区に興味を持たれた方は、京都市地球温暖化対策室、各区役所・支所の
エコまちステーション又は、エコ学区サポートセンターまでおたずねください。**

この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入が使われています

エコ学区かいらんばん 第2号

～これまでのエコ学区・これからの中学校～



丁子学区とは?

京都市では、「地域ぐるみでエコ活動を推進します!」と宣言し、エコ活動を行っていただく「エコ学区」を応援します!平成27年度までに、市内の全222学区が「エコ学区」となり、環境にやさしいライフスタイルへの転換や温室効果ガスの削減を目指します!

平成25年度エコ学区の最新情報をお届けします!

これまでの エコ学区



モデル学区とは？その2

平成23・24年度に、各区・支所から1学区ずつ、山科区は全学区がモデル学区として、地域実験や省エネ診断（くらしの匠事業又は、うちエコ診断事業）等、地域ぐるみのエコ活動に取り組んでいただきました。

第1号にひきつづき、地域ぐるみのエコ活動をご紹介します。

九条学区（南区）

「エコクイズと演劇」

～地域コミュニティでの啓発～

演劇を交えたエコ活動を展開！地域のお祭りで学区役員によるエコクイズをプロの俳優が寸劇で盛り上げました。また、演劇ワークショップを通して「伝えるコツ」を身につけた大人たちが、弘道学区と東梅塙学区の児童も通う九条弘道小学校で、こどもたちに劇を発表しました。楽しみながらエコを意識してもらう取組を通して、大人たちもエコ知識を楽しみながら学ぶことができました。



梅津学区（右京区）

「食をとおしたCO₂ダイエット」

～くらしまるごとCO₂チェックリスト～

家庭からのCO₂排出量を簡単に測定できるチェックリストを作成！おとな版とこども版を作成することであらゆる世代が参加できました。また、身近な「食」を切り口として、フードマイレージ（食料の輸送量と輸送距離をかけあわせたもの）に関する体験や学習会を実施。学区住民のデザインによる独自のエコキャラクターも生まれました。



松尾学区（西京区）

「『エコ』と『防災』で考えるライフスタイル」

～クロスロード エコ・防災編～

カードを使った防災対応ゲーム「クロスロード」のエコ・防災編を作成！一見全く違う問題に思える「エコ」と「防災」を暮らしや地域活動に密接に関わる問題として身近に感じることができました。また、京都の地理的特性や環境問題を踏まえた体験を通して、住民同士が世代を超えてアイデアを出し合い、エコ・防災アクションリストを作成し、学区全戸に配布しました。



境谷学区（洛西支所）

「ホットお助けプロジェクト」

～省エネグッズ実践体験～

住宅の「熱」や「温度」に着目！学習会では、モデル世帯を設定し、室内的温度を測るサーモカメラを使用して「熱の逃げ道調査」、「省エネグッズを使った簡易なリフォーム」など省エネに関する知識や行動を広げました。その後も「温度」に着目したグリーンカーテンが地域に広がっています。



下鳥羽学区（伏見区）

「下鳥羽エコ交通のすすめ！」

～エコドライブと公共交通の利用促進～

クルマを「かしこく」使うことで効果的にCO₂を削減！学区をコースにみて、お互いに指導しながら実際にエコドライブの講習を行いました。また、地元に営業拠点を持つ運輸会社の協力を得て、エコ交通学習会を実施！地域ぐるみで財布に優しく、ひとに優しく、地球に優しい取組を行いました。



藤城学区（深草支所）

「エコと交通」

～マイカーの運行を減らすことはできないか～

エコドライブの推進と乗合自動車による交通実験を実施！最寄り駅からのバス路線がなく、また丘陵地にある同学区では「『ついつい』マイカーに乗るのを減らす」「クルマのよりよい乗り方・選び方を知る」「さまざまな『乗り合い』を実行して、『マイカーに頼りすぎない生活』を地域みんなで増やす」の3本柱でかしこいクルマの使い方に取り組みました。



春日野学区（醍醐支所）

「親子エコライフチャレンジ」

～家族で取り組むエコ体験～

京都市立小学校で行われている「こどもエコライフチャレンジ」を親子で体験！家族で話し合いながらエコライフを2週間実践しました。各家庭での省エネ効果や発見したことを「我が家エコライフチャレンジ宣言」として、学区住民のお祭り「春日野エコまつり」の会場で発表しました。

